

2021年 6月

～第87号～

春の特別企画展『報道がとらえたイタイイタイ病』を開催しました

資料館では、4月24日（土）から5月5日（水・祝）まで、春の特別企画展『報道がとらえたイタイイタイ病』を開催しました。今年はイタイイタイ病裁判での原告勝訴から50年を迎えることから、報道を振り返り、あらためてイタイイタイ病の歴史と教訓について考えました。

期間中、資料館2階 交流学习ルームにて、イタイイタイ病が初めて報道された昭和30年から現在までのイタイイタイ病についての新聞報道をパネルにして展示しました。ゴールデンウィークに重なる時期の開催ということもあり、大変多くの方々にお越しいただき、会場では熱心に記事を読む姿が見られました。



～新聞報道パネル展～

（右下：当時の原告団の1人 高木良信さん
イタイイタイ病対策協議会 初代副会長）

また開館記念日である4月29日（木・祝）には、元富山新聞社記者 小川輝久氏を講師に迎え「イタイイタイ病 50年前のひとこと」と題し、イタイイタイ病取材したジャーナリストとして、当時の様子や何を伝えたかったかをお話ししていただきました。

会場・ウェブでのハイブリッド開催だった今回の講演会は、会場はほぼ満席となり、ウェブ上でも多数の方々に参加いただきました。

当時、司法担当記者として、イタイイタイ病訴訟を、原告、被告となった企業のみならず、

裁判官といった司法の側へも取材をされた貴重な経験に基づく講演に、参加者は真剣に聞き入っていました。

終了後、会場の参加者からは「大変興味深いお話だった。」「当時のことをもっと詳しく聞いてみたい。」などといった声が聞かれました。



～「イタイイタイ病 50年前のひとこと」～
元富山新聞社記者 小川輝久氏

夏休み企画『夏休み自由研究講座』を開催します

資料館では、7月31日（土）午前（9:00～11:30）と午後（14:00～16:30）の2回『夏休み自由研究講座～イタイイタイ病の学習と酸性雨の水質調査～』を開催します。

今年は、ガイダンス映像の視聴や資料館展示室を見学してイタイイタイ病の学習をした後に、立山環境研究所 薬学博士 朴木英治氏を講師として酸性雨の水質を調べる実験を行い、環境について理解を深めます。

小学5～6年生とその保護者が対象で、参加は無料ですが、事前申込が必要となります。

申込締切日： 7月18日（日） ≪当日必着≫

*受付は、午前と午後各8組、合せて16組（32人程度）の申込順とし、定員に達し次第締め切ります。

詳しい内容や申込方法は資料館ホームページをご覧ください。

「資料館ホームページ」

（URL：<https://www.pref.toyama.jp/1291/kurashi/kenkou/iryuu/1291/index.html>）